

2014年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社
上席執行役員 経営企画室長

羽田野 彰士

2013年8月1日

決算概要

	13/3期Q1	14/3期Q1	増減率
売上高	959	1,111	+16%
粗利益	517 (53.9%)	570 (51.3%)	+10%
一般管理費	302 (31.5%)	361 (32.4%)	+19%
開発費	60 (6.3%)	76 (6.9%)	+27%
営業利益	155 (16.1%)	133 (12.0%)	-14%
(のれん等償却除く)	188 (19.6%)	173 (15.6%)	-8%
経常利益	130 (13.5%)	129 (11.6%)	-0%
純利益	82 (8.5%)	90 (8.1%)	+10%
EBITDA (営利+償却費)	232	227	-2%

(億円)

期中平均レート

US\$ 80円
EUR 103円

99円
129円

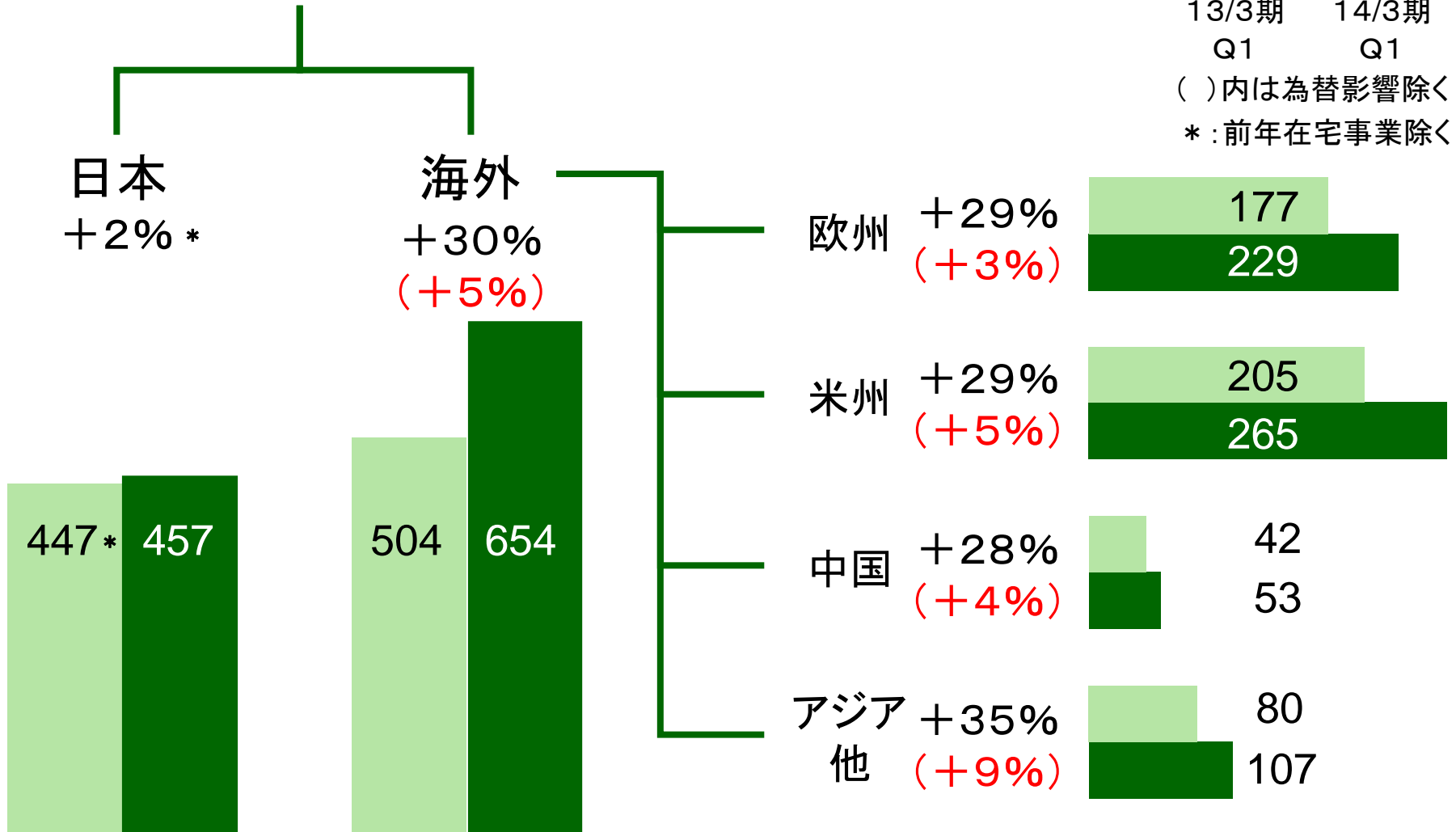
売上高(地域別)

連結: +17% (+4%)*

(億円)

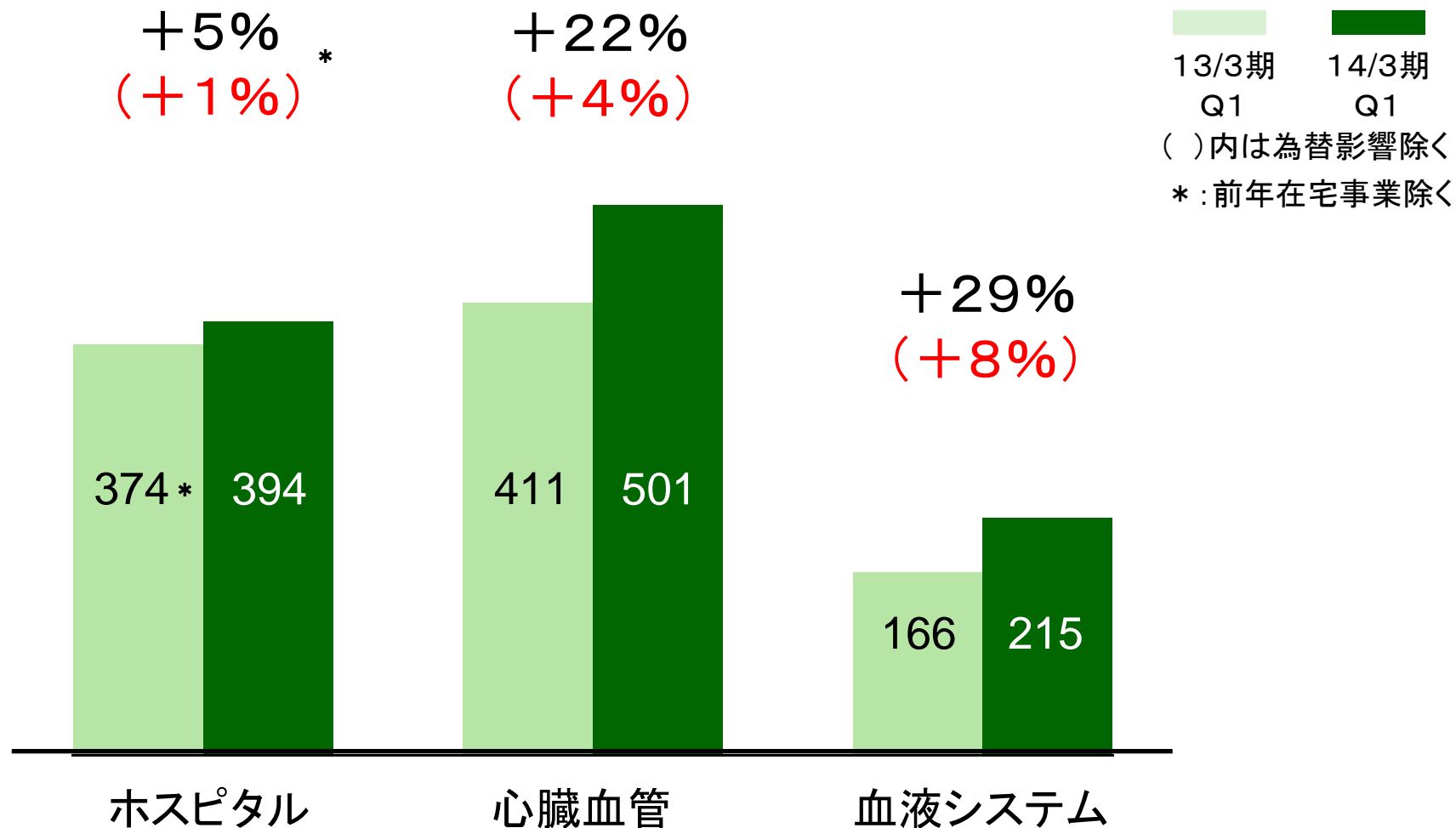
13/3期 Q1 14/3期 Q1

()内は為替影響除く
*: 前年在宅事業除く



売上高(事業セグメント別)

(億円)



事業別 地域別売上高と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外 計					合計
			欧州	米州	中国	アジア	
ホスピタル	307 (1%)	87 (2%)	27 (-7%)	21 (4%)	3 (-23%)	37 (10%)	394 (1%)
心臓血管	121 (3%)	380 (5%)	143 (4%)	154 (7%)	43 (3%)	41 (-0%)	501 (4%)
血液 システム	29 (12%)	186 (7%)	59 (6%)	90 (2%)	8 (18%)	29 (24%)	215 (8%)
合計	457 (2%)	654 (5%)	229 (3%)	265 (5%)	53 (4%)	107 (9%)	1,111 (4%)

心臓血管のうち、カテーテルの海外売上は8%伸長。一時的な要因を除くと2桁(11%)成長継続。

- ✓ 欧州で新システム立ち上げ時の出荷遅れ -4億円
- ✓ 中国の代理店でニューロ製品在庫調整の影響 -4億円
- ✓ 米国での泌尿器科向け直取開始に伴う在庫調整の影響 -1億円

下段()内は為替影響除く対前年同期伸長率及び前年在宅事業を除く

販管費

(億円)

	13/3期Q1	14/3期Q1	増減	増減率
人件費	127	154	+27	+22%
販促費	29	37	+8	+29%
物流費	25	27	+2	+8%
償却費	44	53	+9	+22%
その他	77	90	+13	+14%
一般管理費計	302 (31.5%)	361 (32.4%)	+59	+19%
研究開発費	60 (6.3%)	76 (6.9%)	+16	+27%
販管費合計	362 (37.8%)	437 (39.3%)	+75	+21%

()内は対売上高%

販管費 (為替の影響を除く)

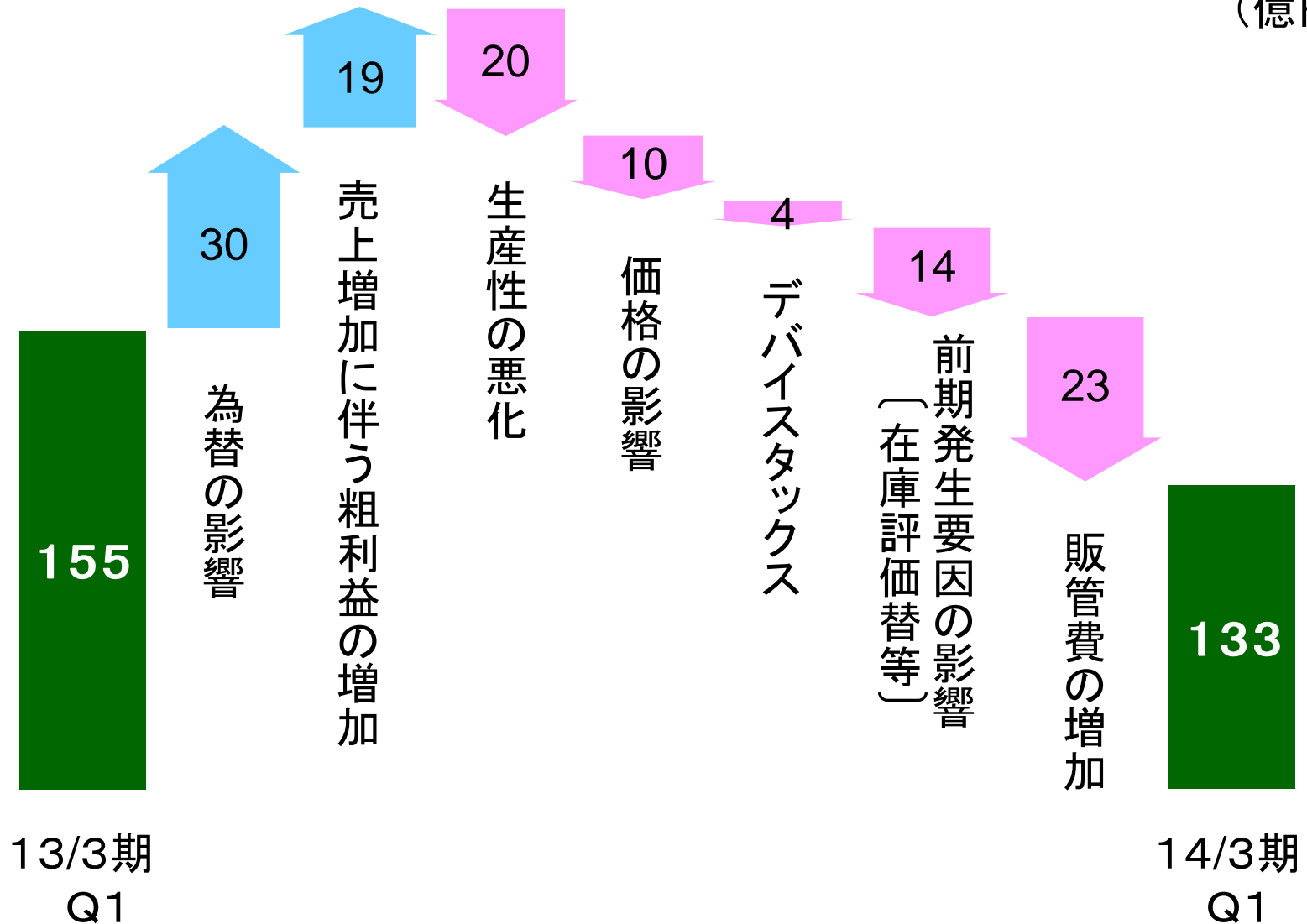
(億円)

	13/3期Q1 本年為替R調整後	14/3期Q1	増減	増減率
一般管理費計	347	361	+14	+5%
研究開発費	67	76	+9	+15%
販管費合計	414	437	+23	+6%

- 人件費 : +5%、+7億円 北米・中南米の販売力強化(カテ、ニューロ)
- 販促費 : +14%、+4億円 日本のカテ、北米のニューロ・ペリフェラルの販促
- 研究開発 : +15%、+9億円 血液システム(治療アフエレーシス・血液自動製剤システム)開発費、ニューロ新製品開発費
- 物流費(+1%、+0億円)・償却費(+2%、+1億円)・その他(+3%、+2億円)

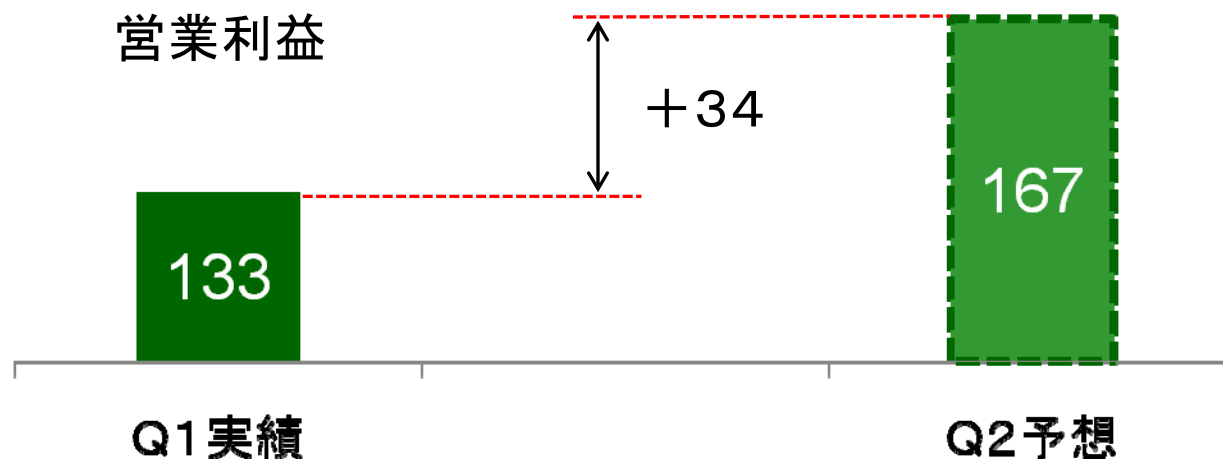
営業利益増減分析

(億円)



Q1は想定通り。上期予想300億円の達成に向けて

(億円)



➤ Q1からQ2への増益要因

✓売上拡大に伴う増益 21億円













- 新製品など(ニューロ、ペリフェラル、スマートポンプ、血液自動製剤システム)

- 心臓血管のQ1の一時的な要因のリカバリー










✓TCVS品質コスト減少 8億円

✓DH II 研究開発費減少 5億円

中計新製品のローンチ状況

領域	製品	FY13	Q1	Q2
ペリフェラル	ステント(膝上)		○	
	バルーン(膝下)			
	ステント(膝下)			
脳	コイルアシスト・ステント			
	血流改変ステント		○	
	オクルージョン・バルーン		○	
心臓	新PTCAバルーン			○
	OFDI(血管内画像診断装置)		○	
	TRI用細物シース	 		○(米)
アブレーション	腎除神経カテーテル		○	
	TRI用腎除神経カテーテル			

中計新製品のローンチ状況

領域	製品	FY13	Q1	Q2
血液システム	血液自動製剤システム (PRP法)		○	
	血液自動製剤システム (BC法)		○	
	成分採血装置 (血漿採血対応)			
	統合データ管理システム (TACSI対応)			
	細胞治療用装置 (骨髄幹細胞対応)			
輸液システム	閉鎖式輸液ライン			
	安全機構付き静脈留置針	 	○	
	高機能輸液・シリンジポンプ		○	

その他 Q1ローンチ製品:

《心臓血管》 マイクロカテーテル (欧)、血栓吸引カテーテル (欧)、ベアメタルステント (日)、複雑病変用IVUSカテーテル (日)

《ホスピタル》 ペン型注入器用注射針 (欧)

参考資料

四半期の動き

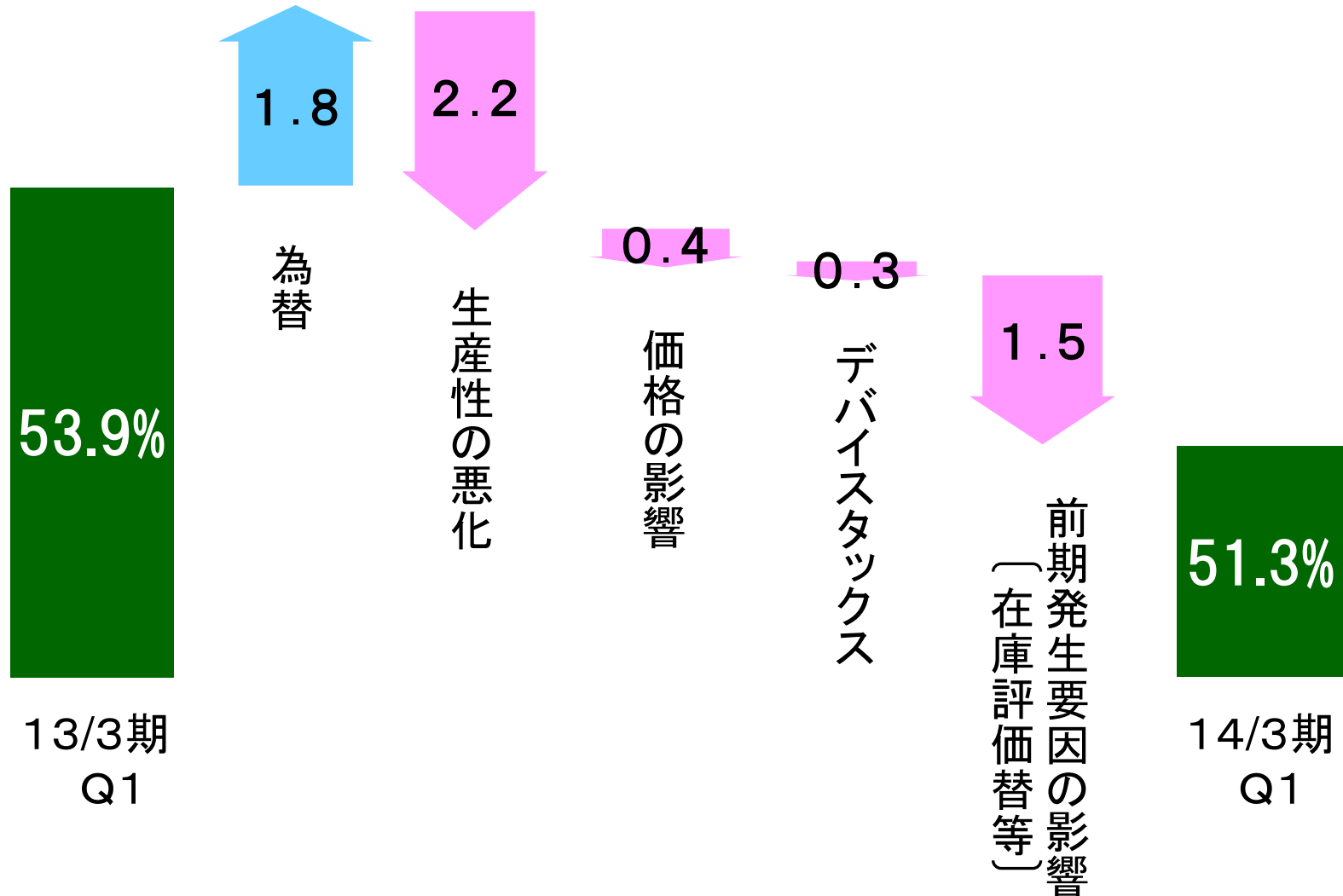
(億円)

	FY12Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	FY13Q1 (4-6月)
売上高	959	960	1,039	1,065	1,111
粗利益	517 (53.9%)	488 (50.9%)	529 (50.9%)	522 (49.0%)	570 (51.3%)
販管費	362 (37.8%)	361 (37.6%)	385 (37.0%)	416 (39.1%)	437 (39.3%)
営業利益	155 (16.1%)	127 (13.3%)	144 (13.9%)	106 (9.9%)	133 (12.0%)

期中平均レート	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
US\$	80円	79円	81円	92円	99円
EUR	103円	98円	105円	122円	129円

粗利益率差異分析

(%)



設備投資と研究開発費

(億円)

	13/3期 実績	14/3期 見通し	Q1 実績
設備投資*	322	450	104 (23%)
償却費*	326	370	93 (25%)
研究開発費	271	300	76 (25%)

* のれん・無形資産含む
設備投資は取得ベース

%: 対年間見通し割合

為替感応度

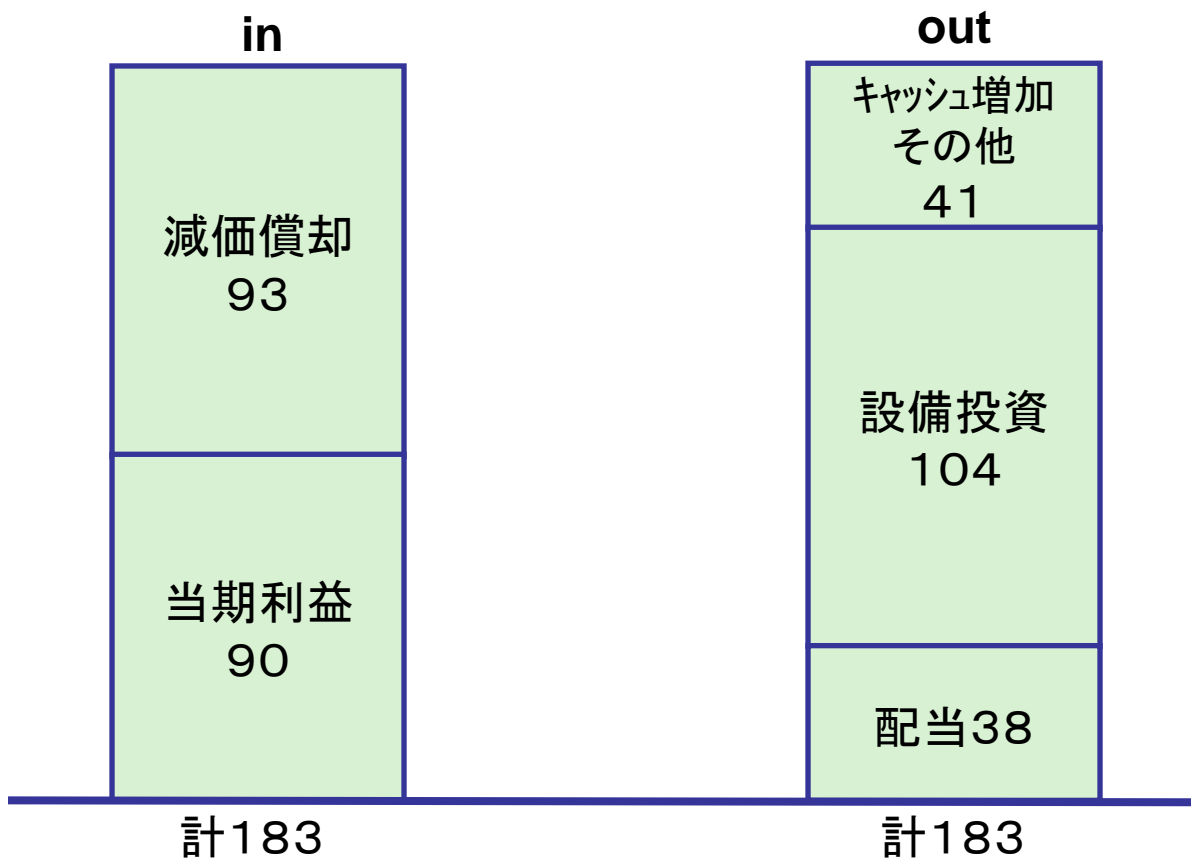
(億円／年)

	ドル	ユーロ
売上高	17	7
営業利益	2	4

キャッシュフロー

(億円)

- 成長投資・借入金返済・株主還元を
バランスよく実施



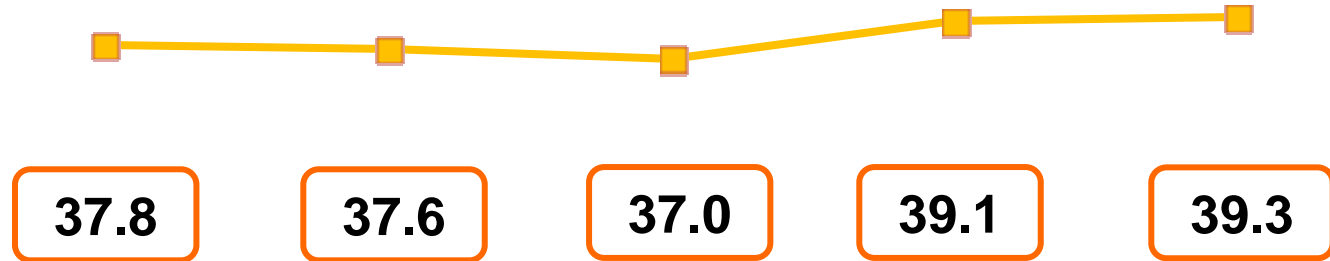
粗利益率、販管費率、営業利益率

(%)

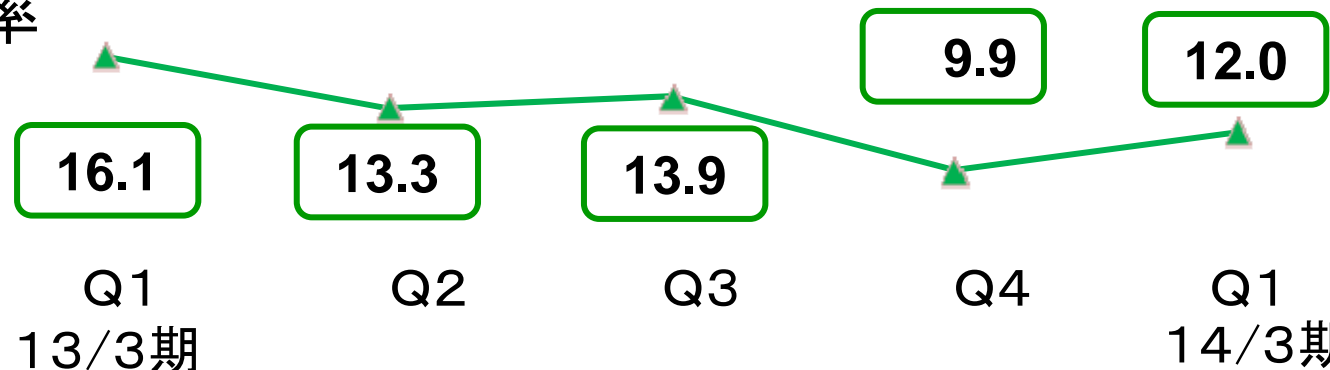
粗利益率



販管費率

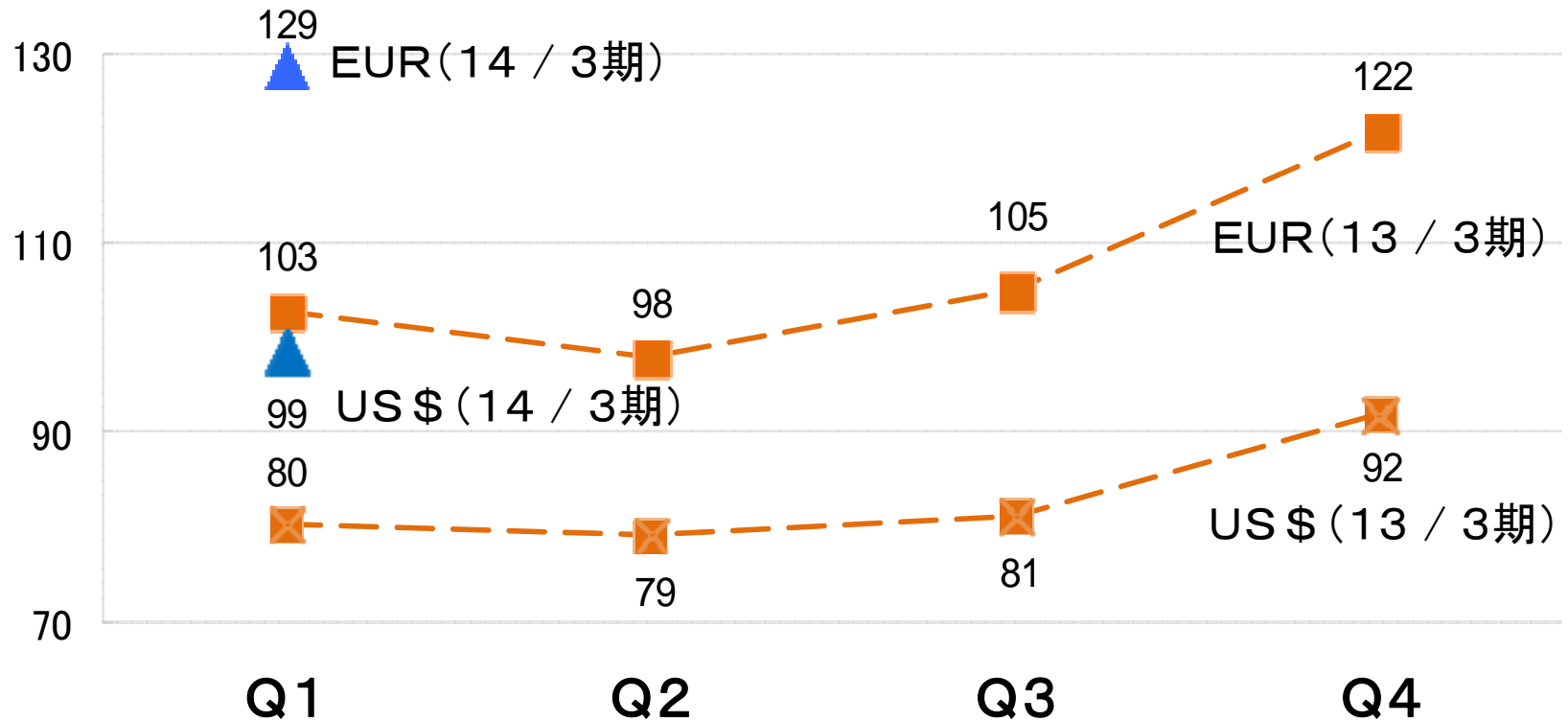


営業利益率



(各四半期の3ヶ月単位)

四半期平均為替レートの推移



(各四半期ごとの期中平均レート)

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。